

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-325179

(43)Date of publication of application : 22.11.2001

(51)Int. Cl. C06F 13/00
C06F 15/00
H04L 12/14

(21)Application number : 2000-141196 (71)Applicant : KOIKE TAKEO

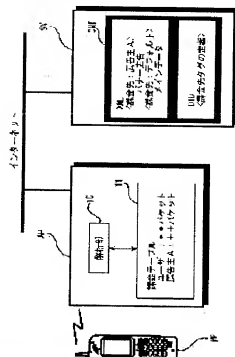
(22)Date of filing : 15.05.2000 (72)Inventor : KOIKE TAKEO
FUJII SHIORI
KOIKE MIYUKI

(54) CHARGING INFORMATION GENERATION SYSTEM IN THE INTERNET

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To mitigate charging of connection fees to a user to receive information service in the case of accessing the Internet in a dial-up system.

SOLUTION: The contents are described in XML and include a tag to specify charging destination. Description of the contents is analyzed, the charging destination is switched based on the tag and charging information according to packet quantity is generated at an access provider AP. The user's burden for cost is mitigated since this system can make a sponsor bear the cost for communication of data such as banner advertising which is not always desired by the user.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than

the examiner's decision of rejection or
application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-325179
(P2001-325179A)

(43) 公開日 平成13年11月22日 (2001. 11. 22)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード* (参考)
G 0 6 F 13/00	5 4 0	G 0 6 F 13/00	5 4 0 P 5 B 0 8 5
15/00	3 3 0	15/00	3 3 0 Z 5 K 0 3 0
H 0 4 L 12/14		H 0 4 L 11/02	F

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2000-141196 (P2000-141196)

(22) 出願日 平成12年 5 月15日 (2000. 5. 15)

(71) 出願人 500114416

小池 建夫
名古屋市天白区音聞山1019番地

(72) 発明者 小池 建夫

名古屋市中区東横2丁目22番22号 スター
ネットジャパン株式会社内

(72) 発明者 藤井 しおり

名古屋市中区東横2丁目22番22号 スター
ネットジャパン株式会社内

(74) 代理人 100096817

弁理士 五十嵐 孝雄 (外 3 名)

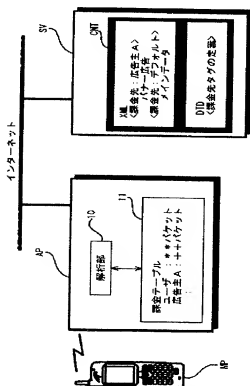
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 インターネットにおける課金情報生成システム

(57) 【要約】

【課題】 ダイアルアップ方式でインターネットにアクセスする際に、情報提供を受けるユーザへの回線使用料の課金を緩和する。

【解決手段】 コンテンツをXMLで記述し、課金先を特定するタグを含める。アクセスプロバイダAPでは、コンテンツの内容を解析し、タグに基づいて課金先を切り替え、パケット量に応じた課金情報を生成する。パナ一広告など必ずしもユーザが所望しないデータの通信について広告主に費用負担させることができ、ユーザの費用負担を軽減することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネットに接続されたサーバとクライアントとの間に介在し、両者間の通信量に応じて回線使用料金に関する課金情報を生成する課金情報生成システムであって、

該クライアントの利用者を含む2カ所以上の課金先に対応する課金先識別子を含むコンテンツを、前記サーバから入力するとともに、該コンテンツを解析し、該コンテンツに含まれる情報毎の課金先を特定する課金先解析部と、

前記サーバとクライアントとの間の通信量に応じて、前記各課金先に対応した課金情報を出力する課金情報出力部とを備える課金情報生成システム。

【請求項2】 請求項1記載の課金情報生成システムであって、

前記コンテンツは、XML (eXtensible Markup Language) で記述され、前記課金先識別子は該コンテンツに含まれる所定のタグである課金情報生成システム。

【請求項3】 請求項1記載の課金情報生成システムであって、

前記課金情報出力部は、前記識別子を区切りとして、その間または後に通信された情報量に基づいて、該識別子に対応した課金先の課金情報を出力する手段である課金情報生成システム。

【請求項4】 インターネットに接続されたサーバとクライアントとの間に介在し、両者間の通信量に応じて回線使用料金に関する課金情報を生成する課金情報生成システムであって、

予め前記クライアントの利用者以外の課金先に関連付けられた添付用コンテンツを記憶するメモリと、

前記クライアントから要求されたコンテンツを前記サーバから入力すると共に、前記添付用コンテンツを付加して該クライアントに送信する送信部と、

前記要求されたコンテンツの通信量に応じて前記利用者への課金情報を出し、前記添付用コンテンツの通信量に応じて前記関連付けられた課金先への課金情報を出力する課金情報出力部とを備える課金情報生成システム。

【請求項5】 前記クライアントはインターネットへのアクセス機能を有する携帯電話である請求項1〜請求項4いずれか記載の課金情報生成システム。

【請求項6】 前記通信量は前記クライアントに送られるデータのビット数である請求項1〜請求項5いずれか記載の課金情報生成システム。

【請求項7】 インターネットを通じてクライアントにコンテンツを提供するサーバであって、前記コンテンツとして、該クライアントの利用者を含む2カ所以上の課金先に対応する課金先識別子を含むデータを提供するサーバ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、インターネットによる通信時の回線使用料金をひとまとまりのコンテンツに含まれる情報ごとに複数箇所に振り分ける技術に関する。

【0002】

【従来の技術】 インターネットへのアクセス方法の一つとしてダイヤルアップ接続が知られている。利用者は、電話回線などの公衆通信回線を通じて一時的にインターネットにアクセスし、Webページ等のコンテンツを閲覧する。この際、アクセスの時間またはやりとりされた情報量に応じた回線使用料が利用者に課金される。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 インターネットに提供される情報には、ユーザが要求しない情報が含まれることがある。例えば、Webページや電子メールに添付されるバナー広告などが相当する。従来、ユーザは所定のWebページを閲覧時に、バナー広告等の通信に要する回線使用料も負担していた。

【0004】 バナー広告の量は増えつつあり、要求していない情報に対するユーザの負担も増大していた。かかる負担の増大は、汎用的な情報の通信、収集手段としてのインターネットの利便性を損ねる可能性もあった。本発明は、ダイヤルアップ方式でインターネットにアクセスする際に、情報の内容によって柔軟に課金先を変更し、ユーザへの回線使用料の負担を緩和する技術を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段およびその作用・効果】 上述の課題を解決するために、本発明では、第1の構成として、インターネットに接続されたサーバとクライアントとの間に介在し、両者間の通信量に応じて回線使用料金に関する課金情報を生成する課金情報生成システムに、課金先解析部と、課金情報出力部とを備えるものとした。

【0006】 課金先解析部は、クライアントの利用者を含む2カ所以上の課金先に対応する課金先識別子を含むコンテンツを、前記サーバから入力するとともに、該コンテンツを解析し、該コンテンツに含まれる情報毎の課金先を特定する。課金情報出力部は、前記サーバとクライアントとの間の通信量に応じて、前記各課金先に対応した課金情報を出力する。

【0007】 こうすることにより、ひとまとまりのコンテンツ内でも、課金先識別子に応じて課金先を切り替えて課金情報を出力することができる。バナー広告など利用者の要求と無関係に送信される情報が含まれている場合には、その分の課金を情報提供者に振り分けることにより、利用者に対する回線使用料の負担を軽減することができ、

【0008】 実際の課金は、次のいずれかの方法で行う。通信回線を提供する業者が課金情報生成システムを

構築する場合には、生成された課金情報に基づいて、利用者等に課金することができる。かかる業者以外の者が課金情報生成システムを構築する場合には、生成された課金情報を通信回線業者に別途送信することにより、利用者等に課金することができる。

【0009】第1の構成において、一例として、前記コンテンツは、XML (Extensible Markup Language) で記述され、前記課金先識別子は該コンテンツに含まれる所定のタグであるものとすることができる。

【0010】インターネット上のコンテンツはHTML (Hyper Text Markup Language) で記述されることが多いが、HTMLは記述に用いることができるタグが比較的制限されている。XMLは、DTD (Document Type Definition) と呼ばれるファイルによってタグの内容を柔軟に定義することができる。DTDは、XMLで記述されたコンテンツとともに提供される。コンテンツをXMLで記述すれば、コンテンツ内の情報ごとに課金先を特定することが比較的容易に実現できる。

【0011】第1の構成では、課金情報の出力方法の一例として、前記識別子を区切りとして、その前または後に通信された情報量に基づいた課金を該識別子に対応した課金先に行う方法を採用することができる。こうすれば、コンテンツに含まれる情報と課金先との対応付けを比較的容易に行うことができる利点がある。

【0012】本発明は、課金情報生成システムにおける第2の構成として、以下に示すメモリと、送信部と、課金情報出力部とを用いる。

【0013】メモリには、予め前記クライアントの利用者以外の課金先に関連付けられた添付用コンテンツが記憶されている。送信部は、前記クライアントから要求されたコンテンツを前記サーバから入力すると共に、前記添付コンテンツを付加して該クライアントに送信する。課金情報出力部は、前記要求されたコンテンツの通信量に応じて前記利用者への課金情報を出力し、前記添付用コンテンツの通信量に応じて前記関連付けられた課金先への課金情報を出力する。

【0014】第2の構成は、課金先に応じて個別に記憶されていた情報を併合してクライアントに送信する態様に相当する。従って、併合前の情報量に基づいて容易に課金先の振り分けを行うことができる。

【0015】本発明においてクライアントはいわゆるパーソナルコンピュータなどの他、インターネットへのアクセス機能を有する携帯電話も含まれる。携帯電話では、通信回線業者が提供するアクセスポイントを経由してダイヤルアップ接続されることが多いため、本発明に適しやす利点がある。

【0016】通信量に応じた課金は、通信時間に基づいて行うものとしてもよいし、前記クライアントに送られるデータのビット数に基づいて行うものとしてもよい。通信時のパケット単位での課金は、後者に含まれる。

【0017】本発明は、上述の課金情報生成システムとして構成する他、課金情報生成方法、課金情報を生成するためのプログラム、該プログラムと同視し得る種々の信号、該プログラムをコンピュータ読み取り可能に記録した記録媒体などの態様で構成してもよい。記録媒体としては、フレキシブルディスクやCD-ROM、光磁気ディスク、ICカード、ROMカードリッジ、パンチカード、バーコードなどの符号が印刷された印刷物、コンピュータの内部記憶装置 (RAMやROMなどのメモリ) および外部記憶装置等、コンピュータが読み取り可能な種々の媒体を利用できる。また、第1の構成については、前記コンテンツとして、該クライアントの利用者を含む2方以上の課金先に対応する課金先識別子を含むデータを提供するサーバとして構成してもよい。なお、情報提供者が回線使用料を負担する情報については、その旨を利用者に知らせる表示を伴うことが望ましい。例えば、バナー広告に対し、「フリーバナー」、「Free Banner」などの名称およびロゴを統一的に使用する方法が挙げられる。

【0018】

【発明の実施の形態】 A. 第1実施例: 図1は第1実施例としての課金情報生成システムの適用例を示す説明図である。インターネットへのアクセス機能を有する携帯電話MPをクライアントとして使用する場合を例示した。ユーザは携帯電話MPに用意されたブラウザによって、Webページや電子メールを閲覧することができる。

【0019】課金情報生成システムはインターネット上でWebページを始めとする種々のデジタルコンテンツを提供するサーバSVと携帯電話MPの間に介在し、両者の通信を仲介しつつ通信量に応じた課金情報を生成する。ここでは、携帯電話MPがインターネットにアクセスするために利用するアクセスプロバイダAP内に課金情報生成システムを構築した場合を例示した。課金情報生成システムは、サーバSVと携帯電話MPとの通信を仲介するものであればよく、アクセスプロバイダAPとは別のシステムとして構築してもよい。

【0020】課金情報生成システムは、ハードウェア的にはCPU、メモリを備えるコンピュータであり、その内部には、データベースとして解析部10と課金テーブル11とが用意されている。課金テーブル11には、課金先ごとに通信量が記憶されている。本実施例では、パケット単位で課金するものとする。課金テーブル11は、解析部10により随時更新される。

【0021】解析部10は、サーバSVから携帯電話MPに送信されるコンテンツCNTの内容を解析し、その内容に応じて課金先を切り替えながら課金情報を生成する。生成された課金情報は、課金テーブル11に逐次積算されて記憶される。

【0022】ここで、サーバSVから提供されるコンテ

ンツCNTの内容を説明する。本実施例では、コンテンツCNTはXMLで記述される。XMLはWebページの記述等に使用されるHTMLよりもタグを柔軟に設定できる言語である。タグの内容はXMLで記述されたデータとともにサーバS Vから提供されるDTDで定義されている。本実施例では、課金先を特定するためのタグを新たに設定して用いる。タグの形式自体は、任意に設定できる。

【0023】XMLで記述されたデータ中では、図示する通り、課金先を特定するためのタグとWebページの表示内容とが含まれる。図中の例は、広告主Aに課金される情報として「バナー広告」があり、デフォルト即ちユーザに課金される情報として「メインデータ」があることを意味している。つまり、単一のコンテンツ中に情報の内容に応じて複数の課金先が含まれる。

【0024】課金情報生成システムの解析部10は、コンテンツCNTに含まれるタグに基づいて、「バナー広告」分のパケット数を広告主Aに対応する課金情報とし、「メインデータ」分のパケット数をユーザに対する課金情報として課金テーブル11に記録する。この処理は、次のフローチャートに従って実行される。

【0025】図2は課金情報生成処理のフローチャートである。課金情報生成システムのCPUがコンテンツの通信とともに繰り返し実行する処理である。CPUは、まず携帯電話MPから指定されたURL (Uniform Resource Locator) に従ってサーバS VからコンテンツCNTのデータをパケット単位で入力する(ステップS10)。その内容を解析し、課金先タグが否かを判断する(ステップS12)。課金先タグである場合には、そのタグで指定された課金先への切り替え処理が行われる(ステップS14)。図1に示したコンテンツCNTの例では、最初に入力されたタグに基づいて広告主Aを課金先とする処理が行われることになる。その後、通信されたパケット量が増量され課金テーブル11に出力される(ステップS16)。図1において、ユーザを課金先とするタグが入力されるまでの間は、広告主Aが課金先として維持されるため、この間に通信される「バナー広告」分のパケット数が課金テーブル11の広告主Aに対応した変数に逐次積算されることになる。次のタグが入力されると、ユーザが課金先となるため、以後に通信される「メインデータ」分のパケット数は課金テーブル11のユーザに対応した変数に逐次積算されることになる。

【0026】ここでは、課金先タグで特定される課金先に対し、そのタグに続くデータの通信量に応じた課金を行う場合を例示した。課金先タグで特定された課金先に対し、そのタグに先行して通信されたデータの通信量に応じた課金を行うものとしてもよい。この方式では、例えば、「バナー広告」のデータの送信後に、広告主Aを指定する課金先タグが送信された場合に、バナー広告分

の課金が広告主Aに対して行われる。

【0027】実際の課金は、こうして生成された課金情報に基づいて携帯電話MPの回線業者により行われる。本実施例では、携帯電話MPがインターネットに接続するためのアクセスプロバイダP内に課金情報生成システムを構築した。かかる場合のアクセスプロバイダPを、携帯電話MPの回線業者が提供する場合には、課金テーブル11を参照することにより、比較的容易に各課金先への課金を行うことができる。回線業者以外の第三者が課金情報生成システムを構築している場合には、その情報に基づいて課金を行う業務提携を、回線業者との間で締結する必要がある。

【0028】以上で説明した第1実施例の課金情報生成システムによれば、単一のコンテンツ内に含まれる情報ごとに課金先を切り替えることができる。従って、ユーザに回線使用料の負担をかけることなく、バナー広告等を送信することができる。バナー広告を広告主の費用負担で送信するものとして、ユーザは回線使用料の懸念なくバナー広告等をじっくりと閲覧することができ、広告主もユーザに敬遠されるおそれなく自己の商品またはサービスについて十分な情報量の広告を送信することができる。この結果、バナー広告の効果を向上させることができる。

【0029】B. 第2実施例。図3は第2実施例としての課金情報生成システムの適用例を示す説明図である。第1実施例と同様、クライアントとしての携帯電話MPがインターネットに接続する際に利用するアクセスプロバイダP内に構築するものとした。第2実施例では、ユーザに課金されるコンテンツと、ユーザ以外に課金されるコンテンツとを別個に保存し、両者を適宜併合して携帯電話MPに送信する態様を例示する。

【0030】インターネットに接続されたサーバS V2からは、いわゆるHTMLで記述されたコンテンツCNT2が提供される。このコンテンツCNT2の送信に要する回線使用料はユーザに課金される。

【0031】第2実施例の課金情報生成システムは、併合部20、課金テーブル21の他、広告対応テーブル23、広告データ22a、22b、22cを備える。課金テーブル21は、第1実施例の場合と同様、課金先に応じてパケット数を単位としている。

【0032】広告データ22a、22b、22cは、種々の広告主から提供されたバナー広告のデータである。図中の例では、広告主Aにより広告データ22aが提供される。この広告データは、サーバS V2からダウンロードされるコンテンツに適宜添付されて携帯電話MPに送信される。この意味で、広告データは以下、添付コンテンツとも称する。なお、広告データは、3種類に限らず多数備えることが可能である。

【0033】広告対応テーブル23は、サーバS V2から提供されるコンテンツ(URL)と添付すべき広告

ータとの対応付けを記憶したテーブルである。図の例では、「URL」で特定されるコンテンツに対しては、広告データ22aが添付されることになる。広告対応テーブル23を省略し、コンテンツに対して広告データをランダムに添付する態様を、その他所定の規則に従って添付する態様を採っても構わない。

【0034】併合部20は、ユーザから入力されたURLに応じてサーバSV2からコンテンツをダウンロードするとともに、広告対応テーブルに基づいて所定の添付コンテンツ（広告データ）を添付して携帯電話MPに送信する。この際、添付コンテンツについては、パケット数を積算し、その提供者に課金されるよう課金テーブル21を更新する。サーバSV2から提供されるコンテンツについては、パケット数を積算し、ユーザに課金されるよう課金テーブル21を更新する。かかる処理は、次のフローチャートによって実現される。

【0035】図4は第2実施例における課金情報生成処理のフローチャートである。まず、CPUは携帯電話MPからURLを入力し（ステップS20）、それに応じてサーバSV2からコンテンツを取得する（ステップS22）。次に、広告対応テーブル23を参照することで、URLに応じた添付コンテンツ、即ち広告データを特定し（ステップS24）、そのデータを携帯電話MPに送信する（ステップS26）。この際、添付コンテンツの通信量に応じた課金情報を生成し、課金テーブル21内の添付コンテンツの提供者に対応した変数を更新する（ステップS28）。続いて、サーバSV2から取得したコンテンツを携帯電話MPに送信する（ステップS30）。この際、コンテンツの通信量に応じた課金情報を生成し、課金テーブル21内のユーザに対応した変数を更新する（ステップS32）。こうして生成された課金情報に基づく課金の方法は、第1実施例と同様である。

【0036】以上で説明した第2実施例の課金情報生成システムによれば、情報の内容に応じた課金先の切り替

えを比較的簡易な構成で実現できる利点がある。

【0037】C、変形例：ユーザ以外に課金される情報は、バナー広告に限られない。逆に、バナー広告をユーザに課金するように提供しても構わない。ユーザ以外に課金される情報には、スクリプトなどのプログラムが含まれていてもよい。

【0038】クライアントは、携帯電話MPの他、汎用のコンピュータを利用することもできる。

【0039】実施例の課金情報生成システムに備えられている各機能ブロックおよびテーブルは、ネットワーク上に分散して備えられていてもよい。

【0040】課金は通信時間に応じて行ってもよい。

【0041】ユーザに回線使用料の負担を与えないバナー広告等については、「フリーバナー」、「Free Banner」などの名称およびロゴを用い、ユーザが容易に認識できるようにすることが望ましい。

【0042】以上、本発明の種々の実施例について説明したが、本発明はこれらの実施例に限定されず、その趣旨を逸脱しない範囲で種々の構成を際ることができることはいうまでもない。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1実施例としての課金情報生成システムの適用例を示す説明図である。

【図2】課金情報生成処理のフローチャートである。

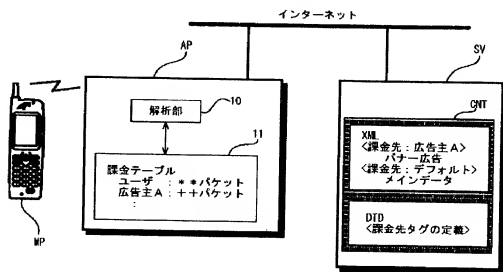
【図3】第2実施例としての課金情報生成システムの適用例を示す説明図である。

【図4】第2実施例における課金情報生成処理のフローチャートである。

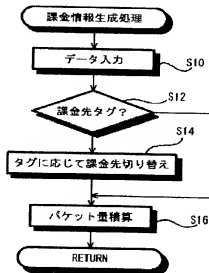
【符号の説明】

- 10…解析部
- 11…課金テーブル
- 20…併合部
- 21…課金テーブル
- 22a、22b、22c…広告データ
- 23…広告対応テーブル

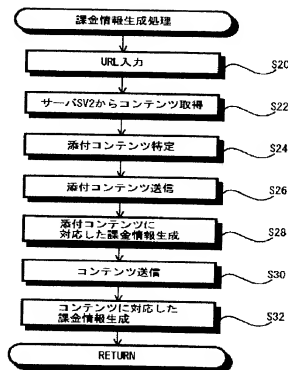
【図1】



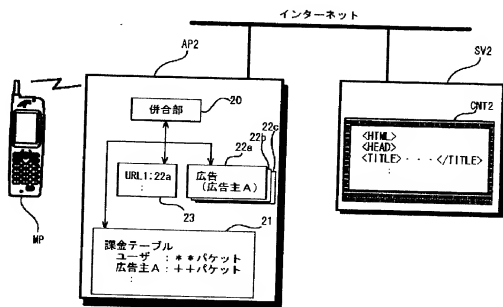
【図2】



【図4】



【図3】



フロントページの続き

(72) 発明者 小池 幸
名古屋市中区東桜2丁目22番22号 スター
ネットジャパン株式会社内

Fターム(参考) 5B085 AC04 BG07
5K030 HB08